

歯の健康

課題

むし歯や歯周病は、食生活や社会生活などに支障をきたし、ひいては、全身の健康に影響をおよぼします。歯や口の健康を保つことは、豊かな人生を送るための基礎となるものです。8020の達成を目指し、歯を失う原因となるむし歯や歯周病を予防する必要があります。

市民の取り組み

自分にあった歯みがき方法を身につけ、食べたらずぐ歯をみがきます。

歯の健康を保つ歯科保健習慣を身につけます。

歯の健康が全身の健康に影響があることを知ります。

市民の目標

むし歯のない幼児の増加

3歳児 90%以上（現状 75.2%）

むし歯のない児童・生徒の増加

小学1年～6年生 37%以上（現状 26.4%）

中学1年～3年生 42%以上（現状 31.1%）

歯みがきを一日3回以上する人の増加

小学6年生 24%以上（現状 11.8%）

中学3年生 22%以上（現状 10.8%）

青年～高年期 31%以上（現状 15.1%）

フッ化物配合の歯みがき剤を使用している児童・生徒の増加

小学6年生 45%以上（現状 22.4%）

中学3年生 45%以上（現状 22.5%）

歯間清掃用具を使用している人の増加

35～44歳 18%以上（現状 9.0%）

45～54歳 21%以上（現状 10.1%）

定期的に歯科検診を受けている人の増加

55～64歳	40%以上（現状27.0%）
青年～高年期	38%以上（現状24.5%）

定期的に歯石除去等を受けている人の増加

55～64歳	40%以上（現状29.2%）
青年～高年期	33%以上（現状22.6%）

8020運動を知っている人の増加

小学6年生	53%以上（現状26.3%）
中学3年生	51%以上（現状25.5%）
青年～高年期	100%（現状50.1%）

歯周病の予防法を知っている人の増加

小学6年生	30%以上（現状15.0%）
中学3年生	33%以上（現状16.2%）
青年～高年期	63%以上（現状31.3%）

ひとことメモ

フッ化物ってなに？

フッ化物は、歯質を強化し、むし歯になりにくい歯にする効果があり、世界各国でむし歯予防に使われています。フッ化物の利用は、生え始めの歯に行くと最も効果が高いとされています。

歯間清掃用具って何？

デンタルフロスや歯間ブラシに代表される歯と歯の間を清掃する用具です。

8020運動って何？

80歳になっても自分自身の歯を20本以上保つことを目標に、若いうちから歯や歯ぐきの健康づくりを進めようという運動です。

市民を支える取り組み

歯科保健に関する情報を提供します。

歯科保健に関する知識や技術を普及啓発します。

関係機関と連携して、8020運動の推進と、歯周病対策などの歯科保健に関する事業の充実を図ります。